

(一財)日本海洋レジャー安全振興協会主催
東伊豆町立熱川小学校海藻おしば教室実施報告

場 所	静岡県東伊豆町立 熱川小学校
開催日	2025年(令和7年)6月20日(金)
対象者	熱川小学校3~4年生 生徒+教員 52名
講 師	海藻おしば協会 小張 紀子講師
補 助	高山 優美講師・矢部 晶指導員
ボランティア	市ノ川恵子(ダイビングインストラクター)・鳥澤 善久
学校担当	桑原校長 3年:太田先生 4年:望月先生

(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会主催の海洋環境教育出前講座2025年度1校目は、静岡県東伊豆町立熱川小学校で行った。東伊豆北川でダイビングインストラクターをしている海藻おしば協会の高山講師は、2024年12月頃、熱川小学校桑原校長に環境学習としての海藻おしば教室について相談連絡をした。授業と連動しながら実施をしたいという学校の希望も取り入れ「地元調べ」を行っている3年生担任より、事前に海の海藻を調べたいという相談を受けた。大潮干潮時に(5月27日)伊豆北川港で海藻おしば作りで使用する「トサカノリを探せ!」というテーマで漂着海藻観察会を高山優美講師担当し6月20日に使用するトサカノリを採集した。

児童は、沢山の回収を採集、全員でどのような海藻があるのか観察し10種類以上の海藻を観察できた。児童たちにとっても海での経験は、新しい発見が多く「カツオノエボシを初めてみた」「これが貝の卵なの?」「危険生物も教えてくれてありがとう」など感想があった。



【危険生物や注意事項説明】



【トサカノリを集めよう】



【カニやカサガイの卵を観察】

【6月20日(金)】	講座当日の流れ
12時30分~ 13時30分	つどいの広場(講話)会場設営 作品作り家庭科室→つどいの広場フロアに変更 桑原校長 開始の挨拶・小張講師 レクチャー開始 クイズ・DVD・海の森・地球環境の大切さを学ぶ ※10分休憩 水分補給
14時30分頃 15時15分 16時ごろ	海藻おしば作り開始(作り方説明小張講師・高山講師・矢部指導員) 主催者:海洋レジャー安全咽喉協会のふね検のお話 講座終了挨拶 片付け・完全撤収

【教室の様子】

静岡支部小張講師は、静岡(伊豆)の海藻が豊かな海であり自然が豊かな環境に生きていることを写真やスライド資料を使い海の森を大切にするために、温暖化防止、二酸化炭素の排出量削減についてわかりやすくレクチャーを行った。当初海藻おしば作りは家庭科室での実施予定であったが、空調の問題や熱中症のリスクを考え集いの広場エリア(廊下)を使用し実施した。



【桑原校長から開始の挨拶】



【身近な海の事を考え、海の森の大切さを学ぶ時間となった】



【海藻おしば作りの様子】

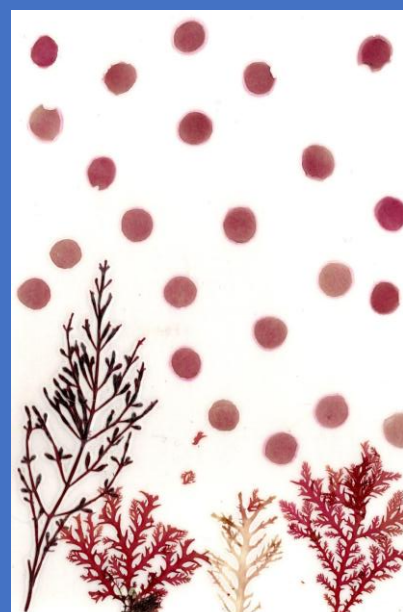
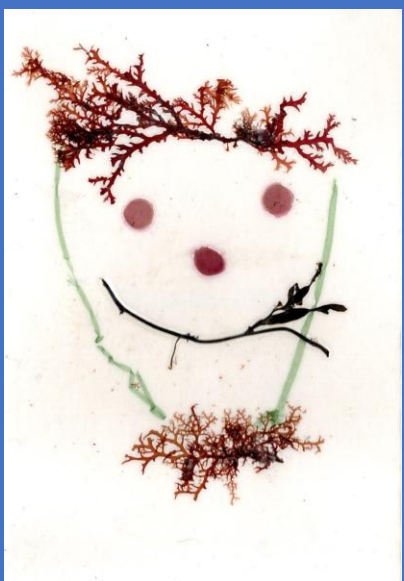
素材となる海藻は、アオサ・アカモク・マクサ・ユカリなど9種類を使用、トサカノリは事前に3年生が伊豆北川の海岸で拾った伊豆の海藻を使用した。

作品づくりの説明は、小張講師・高山講師・矢部実技指導員の3グループに分かれ実施、児童も教師も海藻おしば作りを楽しんだ。



作品は、水で濡れているため海藻おしば協会小張講師が持ち帰り、乾燥・ラミネート作業を行い学校に郵送。

【参加者 作品（抜粋）】

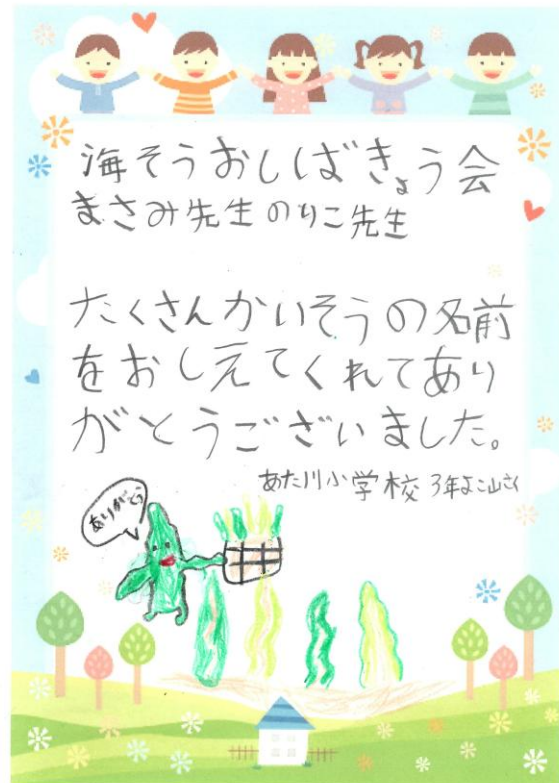
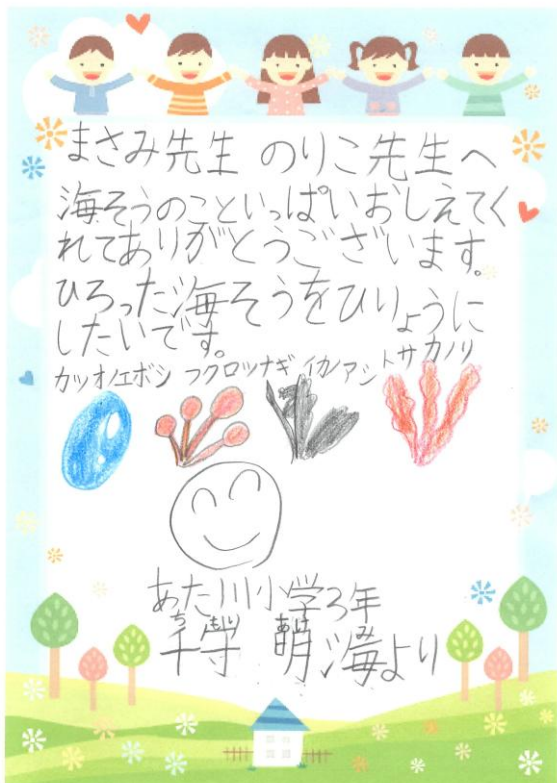




【ふね検について】

講座の終了時に主催者である日本海洋レジャー安全振興協会の活動の1つである「ふね検」のPRチラシを見ながら「ふね検」にチャレンジ！と説明。海のレジャーにも関心を持つ機会になる事を期待したい。

【3年生漂着海藻観察後のお礼状 抜粋】



【編集後記】

東伊豆町の小学校での海藻おしば教室は、初めてであった。
 野外活動で海辺に出る学校が少ない中で「事前に海に漂着海藻を拾いに行くことはできるか？」という相談があった学校は初めてであった。実施に向けて海辺の安全面など学校と協力をして海での自然体験をした。自分たちで拾った海藻を使って海藻おしば教室を実施することができた。後日3年生から届いた手紙の内容をみても、海での経験はとっても楽しい学びの機会になったことが分かり私達にとっても貴重で嬉しい経験となった。

【報告：高山 優美】